

# あぐりめ〜る新川

第66号(平成27年3月発行)

富山県新川農林振興センター

〒938-0801 黒部市荻生 3200

TEL: (0765)

担い手支援課 52-0268, 52-5192

農業普及課 52-0094, 52-0945

FAX: (0765) 52-3115

[http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1630/](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1630/)

## 新川農業の未来を担う人 ~第12回~

(株) 細田農産 代表取締役社長 細田 達也氏 (入善町東孤)

### ~地域に愛される野菜づくりに挑戦中~

細田達也さんは、入善町東孤の旧8号線海側にあるビニルハウス10棟でコマツナやホウレンソウ、トマト等を、露地でキャベツや大根等を栽培しており、市場出荷の他に学校給食やハウス前の無人直売所でも販売しています。

子供の頃から、父親の農業に興味を持ち、中央農高専攻科を卒業後、朝日町の野菜農家で2年間研修してから実家に就農、ハウスを建ててコマツナ栽培に取り組みました。

現在、みな穂こまつな出荷組合長、入善町施設園芸組合長を務め、地域農業の発展のため頑張っています。野菜を一年中生産販売することで、お客さんの笑顔が見られ、「美味しい」という言葉が明日の励みになります。



### ~とことん“美味しい”を追求~

ハウス栽培では、防虫ネットや良質堆肥等の利用や、化学農薬・化学肥料を減らして栽培しており、今後とも安心・安全な野菜栽培に取り組んでいきます。また、昨年、兄が加わり、水稻の他に多品目の野菜を栽培に取り組むことで、学校給食や契約販売等を進め、多角的な経営に取り組んでいこうと考えています。

地域の皆さんが(株)細田農産のお米や野菜を食べて、健康で楽しい生活ができることを願っています。



P.2…【平成27年産水稻の重点対策】 ~今年こそ試される高温対策~

P.3…水稻直播栽培における播種様式の紹介

P.4…【Let's 園芸!】旧盆・彼岸切花の栽培について

P.5…【Let's 園芸!】ハウスねぎの栽培について ~水稻育苗ハウスを活用しよう!~

P.6…6次産業化へのチャレンジ ~その3~ 27年度からの6次産業化支援制度について

P.7…短期暴露評価導入に伴う、農薬の使用方法の変更について

P.8…【耳より情報】環境保全型農業を支援する制度が、取組みやすくなりました!

【お知らせ】春の農作業安全運動が始まります! 技術情報番組の放送がスタート!

## 【平成 27 年産水稻の重点対策】 ～今年こそ試される高温対策～

平成 26 年産米の 1 等米比率は、新川管内の市町全て 90% 以上となり、過去 2 カ年の品質不良から大幅に回復しました。

その要因としては、登熟期間が低温で推移し、玄米の白未熟粒のうち基白・背白粒が大きく減少したことによるものです。一方、心白・乳白粒は依然として一定程度の発生が見られ、この改善には籾数のコントロールが不可欠です。

登熟期の高温を想定して、一層の品質向上対策を進め、1 等米比率を堅持し、「消費者に喜ばれる米 (売れる米)」の生産に努めましょう。




分類	整粒	白未熟粒	
		基白・背白粒	心白・乳白粒
			
発生要因	気象要因	-	登熟中期の高温
	栽培要因	-	栄養凋落 葉色の低下
発生率 (%)	H26	76.3	0.6
	H25	50.5	23.2
			登熟初期の高温
			籾数の過剰 倒伏
			15.6
			18.9

表 1 白未熟粒の発生要因と発生率  
(新川管内調査ほ 35 カ所の平均)

### ポイント 1 深耕と中干しの徹底によるしっかりした根づくり

収穫後の稲の根を観察すると、品質が良いほ場の根は長く、量も多い傾向にあります。根づくりをしっかり行うことにより、葉色が高く保たれ、高温に強くなります。

(1) 深さ 20 cm 以上を目標に深耕に努めましょう。プラウやスタブルカルチなどの活用も有効です。

(2) 田植後 1 ヶ月を目安に、中干しを徹底し、直下根をしっかり確保しましょう。中干し後は間断かん水により、うわ根の発達を促しましょう。



写真 2 スタブルカルチ耕

写真 1 根の伸長と品質

### ポイント 2 高温登熟の回避と胴割米の発生防止

「コシヒカリ」は高温に弱い品種です。高温を避けることが最も有効な高温対策です。

(1) 5/15 を中心とした田植や直播の導入により、8/5 以降の出穂を目指しましょう。また、高温に強い「てんたかく」や「てんこもり」を積極的に導入しましょう。

(2) 昨年の収穫期は比較的低温傾向であったため、胴割米の発生はほとんどありませんでした。

しかし、収穫期の籾の水分の分布をみると、2 次枝梗 (穂の根元部分) は水分が高く、青みが残っているにもかかわらず、1 次枝梗 (穂の先端部分) は極めて低い水分であり、胴割米の危険があったといえます。

胴割米を防ぐため、収穫期に高温が予想される場合は、早めの刈り取りに心がけましょう。

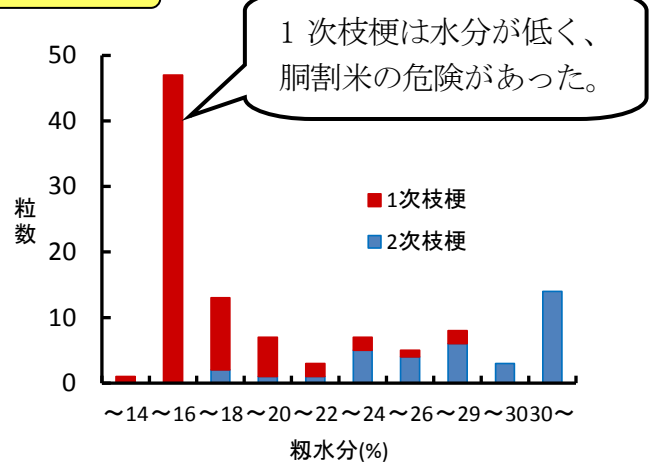


図 1 穂内の籾の水分分布

(9/19 採取、朝日町南保、  
平均水分 20.3% 籾黄化率 90%)

## 水稻直播栽培における播種様式の紹介

米をめぐる状況が厳しくなる中で、一層のコスト低減が求められており、育苗にかかる資材費や労働時間を軽減することができる直播栽培はコスト低減の切り札です。直播栽培面積は、県全体で2,508ha、新川管内で429haに達し年々拡大しています。

新たな播種様式も普及しており、それぞれの特徴について紹介します。

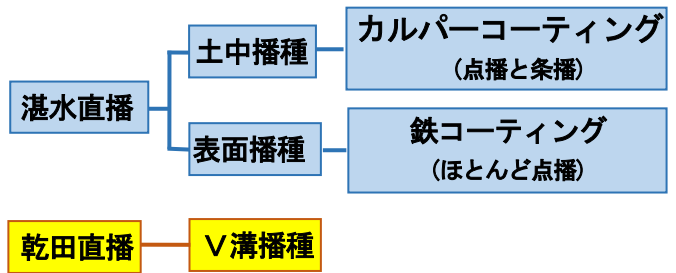


図 直播の播種様式

### 【各種直播栽培様式の特徴】

区分	湛水直播		乾田直播
	土中播種	表面播種	V溝播種
	カルパーコーティング 	鉄コーティング 	キヒゲンコーティング 
播種方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>春に代かき</li> <li>種子消毒、催芽後にカルパー（水中で酸素を種子に供給）をコーティングした種子を土中1cm程度に播種する方法</li> <li>播種量：3～3.5kg/10a</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>春に代かき</li> <li>浸種後に鉄粉（重しの役割）をコーティングした種子を土壤表面に播種する方法</li> <li>播種量：3.5～4kg/10a</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年秋に代かき</li> <li>乾籾をキヒゲンコーティングにより種子消毒した種子を春に乾田状態で、深さ5cm程度のV型の溝に播種する方法</li> <li>播種量：6～8kg/10a</li> </ul>
長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培技術が概ね確立している</li> <li>苗立率が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農閑期に種子をコーティングし、保存できる</li> <li>資材費（コーティング剤含む種子代）が安い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代かき、播種、収穫等の作業の分散が可能</li> <li>浸種、カルパーコーティング不要</li> <li>鳥害や倒伏に強い</li> </ul>
短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>春の農繁期にコーティング作業が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出芽が遅い</li> <li>苗立率が低い</li> <li>倒伏に弱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型トラクタ（セキ）が必要</li> <li>施肥量、播種量が多い</li> <li>除草剤の散布回数が多い</li> </ul>
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>カルパーの剥がれによる播種機の詰まりに注意</li> <li>播種後の田干しの徹底による苗立確保</li> <li>適期の雑草防除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄コーティング後の発熱に注意</li> <li>播種は4月下旬以降</li> <li>代かきは硬めに行う</li> <li>適期の雑草防除</li> <li>除草剤の薬害に注意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>播種時の土壤水分が高いと苗立ち率が低下するため、ほ場が十分乾いた状態で播種</li> <li>適期の雑草防除</li> </ul>

\*漏生籾の混入防止のため、前年と同一品種または転作跡田で直播栽培を実施しましょう。

＜各様式の特徴を踏まえ、技術改善に努めましょう＞



## 【Let's 園芸!】小菊など切花の栽培について～旧盆・彼岸に向けて～

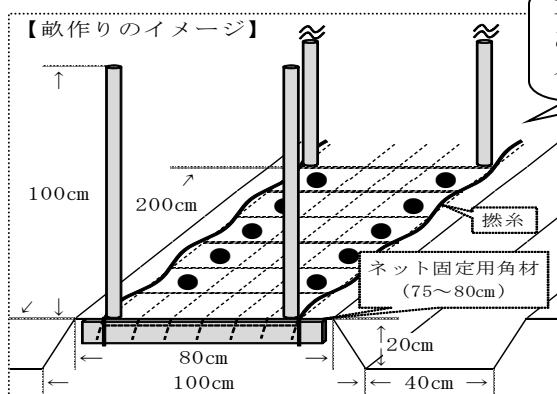
切花は旧盆や彼岸など需要が高くなる時期がありますので、今回はこの需要期に向けた栽培について紹介します。また、切花を栽培するには、品目に応じた施肥量の調整や、茎が曲がらないように支柱とフラワーネットが必要です。

【施肥量：25m畝を作る場合の基肥目安】

主な品目	フラワー有機ペレット	苦土石灰	備考
菊・新鉄砲ユリ	20kg	5kg	窒素成分 2.4kg/a
アスター等一般草花	10kg	5kg	窒素成分 1.2kg/a
ケイトウ・ヒマワリ	無	5kg	

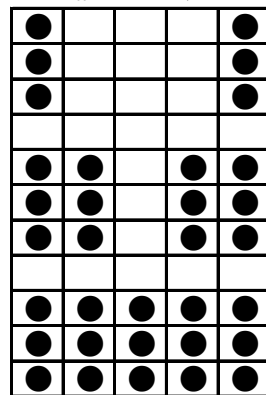


【畝作り・支柱の設置・植付間隔】



草丈の伸びにあわせて  
ネットを上げる

12cm幅・5目のフラワーネット



【2条植】  
菊

【4条植】  
アスター  
ケイトウ

【5条植】  
新鉄砲ユリ  
ヒマワリ

■小菊（露地栽培）

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
8月咲き (旧盆向け)	ハウス管理→	↓ □ ▼ ▼ ×			■ ■ ■		◇	VV				⇒ ×
9月咲き (彼岸向け)	ハウス内管理 →	×	↓ □ ▼ ▼ ×				■ ■ ■ ◇	VV				⇒ ×

↓:さし芽 ×:摘芯 □:畝づくり ▼:定植 ■:開花・台刈り ◇:追肥・土寄せ V:かぎ挿し ⇒:親木切除

《栽培条件》日当たりがよく、排水のよいほ場を選ぶ。土壌pH6.5を目安に苦土石灰を施用する。

《品 種》小ギク苗は開花時期を確認し販売業者等から購入する。

次年度以降の苗は、ハウス等で自家増殖し面積拡大することができる。

■アスター（露地栽培）

月	3	4	5	6	7	8	9	10
8月咲き (旧盆向け)	ハウス管理(育苗)	● □ ▼			■ ■ ■			
9月咲き (彼岸向け)	ハウス管理(育苗)		● □ ▼			■ ■ ■		

《栽培条件》 ●:は種 □:畝づくり ▼:定植 ■:開花

- ・浅根性で乾燥と湿害に弱いため排水のよいほ場を選ぶ。土質は特に選ばない。
- ・連作すると萎凋病が発生しやすいため、同一ほ場での作付けは5年以上間隔をあける。
- ・土壌酸度が低いと生育不良となるため、pH6.5を目安に苦土石灰を施用する。

《品 種》

- ・小輪系：ステラシリーズ(高性小輪半八重咲き種)など
- ・中輪系：あずみシリーズ(高性ポンポン咲き種)、松本シリーズ(中早生高性八重咲き種)など

※詳細は「切花栽培のマニュアル」がありますので、園芸振興班にお問い合わせください。

## 【Let's園芸!】ハウスねぎの栽培について ～水稲育苗ハウスを活用しよう!～

主穀作経営体の収益を確保するため、水稲育苗ハウスを活用した園芸導入による複合化を推進しています。また、水稲直播栽培を導入した際の遊休ハウスの活用にもなります。

今回は、水稲との作業競合が少なく、冬期間の労力の有効活用ができ、収益性の高い「ハウスねぎ」の栽培について紹介します。

### 1. 作業体系・労働時間

(1 a 当りの時間)

月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
作業体系	○・○ △-△ 播種 定植							▽▽▽ ■	■				
労働時間(hr)	1	1	1	1	1	3	1	10	12	12	1	44	

### 2. 栽培のポイント

**品 種**：「ホワイトスター」（タキイ種苗）＝生育肥大、揃いが良く、耐寒性に優れる

**育 苗**：チェーンポットと育苗箱、専用培土を使用し1ポットに2粒播種

播種覆土後はたっぷりとかん水し、ハウス内で育苗、換気に努める

**施 肥**：発酵鶏糞 10kg/a、苦土石灰 10kg/a、あきちゃんA 10kg/a 散布し土壌混和

**定 植**：専用定植機で条間 80cm で定植、間口 3 軒幅ビニルハウスでは 6 条植えできる

**土寄せ**：定植 30 日後に少量、60 日後と 90 日後に株元から 15cm 土を入れる

**誘 引**：定植 30 日後頃に直管パイプ等を 1 m 間隔に立てる。60 日後に根元から 30cm、90 日後に 45cm の位置にビニコンロープ等を張る

**遮 光**：ねぎの葉鞘の太さ 15mm を目安に、黒ポリ等をロープに固定し遮光する

遮光ビニルを張ってから 2 週間は上部を開口し内部に光を入れる

遮光期間の目安：12 月収穫は 50 日間、1 月以降の収穫は 60 日間

**保 温**：定植から 10 月までは換気し、11 月以降は昼 20℃前後で、夜は保温

**かん水**：6～8 月は 3 日に 1 回、9～10 月は 7 日に 1 回、11 月以降はほとんど不要

**収 穫**：目安の遮光期間を経過したら、試し掘りして軟白部を確認後、開始する

葉折れしやすいので、葉切りしてから収穫する



※詳細は「栽培のマニュアル」がありますので、園芸振興班にお問い合わせください。

## 6次産業化へのチャレンジ ～その4～ 27年度からの6次産業化支援制度について

前号（第65号）において、6次産業化の実践者に対する支援制度について掲載したところですが、次年度に向けメニューの拡充等の見直しが行われることとなりましたのでご紹介します。

### ○27年度からの6次産業化支援制度の概要について

※各事業の詳細な内容については県及び国の予算成立後(3月下旬以降)に決定します。

#### (1) 県の支援制度

##### 6次産業化とやまの魅力発信事業

- ①補助対象者：6次産業化に取り組む農林漁業者で個人(認定農業者)又は団体
- ②事業内容：6次産業化に向けた商品・サービス開発、販路の開拓、加工機材整備など
- ③補助率、補助上限額など

一般枠	医福食農連携枠	魅力向上枠(27年度から新たに追加)
○補助率:1/2 ○補助上限額 2,500千円	県民の健康や福祉の増進につながる商品開発等を支援 ○補助率:1/2 ○補助上限額:2年間で3,000千円	観光体験農園や農家カフェの開設など、農や食の魅力を発信する取組みを支援 ○補助率:1/2(県費+市町費) ○補助上限額:2年間で5,000千円

#### (2) 国の支援制度

##### 6次産業化ネットワーク活動推進事業

推進事業	整備事業(事業者タイプ)
○補助対象者:農林漁業者の組織する団体等 ○事業内容 新しい商品の開発、販路の開拓など ○補助率 1/3(市町策定の6次産業化を推進する戦略に基づく取組みの場合:1/2)	○補助対象者:六次産業化法に基づく総合化事業計画認定者 ○事業内容 農産物の加工・流通・販売等に必要な施設など ○補助率、補助上限額等 事業費の3/10若しくは融資額のいずれか低い額 ※事業と同時に制度資金等の融資を受けることが必要 ※補助上限額は1億円

→上記の他、要望に応じて6次産業化に関する専門家(6次産業化プランナー)を派遣するサポート事業も用意されていますので、詳しくは経営支援班まで問い合わせ願います。

## TOPIC

### 六次産業化法に基づく総合化事業計画に管内で2経営体が認定されました！

2月27日(金)に国において六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定結果が公表され、管内からは「有限会社クリーンみず穂」(朝日町)と「有限会社 ドリームファーム」(入善町)の2経営体が、26年度では県内初となる認定を受けました。

クリーンみず穂では、自社で生産する黒米を利用して、その健康効果に着目した新商品(麺、ジェラート等)の開発、販売を行い、ドリームファームでは、自社で生産する米を活用した新商品(ラーメン、うどん、ポン菓子等)の開発と輸出も視野に入れた販売を行います。

両経営体とも事業計画の実現により、収益向上を図り経営体質の強化を目指すこととしています。

新川農林振興センターでは、引き続き、担い手の皆さんの総合化事業計画の作成や6次産業化の実現に向けた取組に対して支援していきます。



左より(有)ドリームファーム 青木代表取締役社長、鍋嶋代表取締役会長、(有)クリーンみず穂 柳澤代表取締役社長

## 短期暴露評価導入に伴う、農薬の使用方法の変更について

農薬については、これまで一生涯にわたり農産物を摂取した場合などの、ヒトの健康に対する長期的な影響を評価した「長期暴露評価」に基づき、農産物毎に農薬残留基準値が設定され、この値を超えないように使用方法が決められてきたところです。

今般、この「長期暴露評価」に加え、農産物を短期間で一度に多量に摂取した場合についてのヒトへの健康に対する急性的な影響を評価する「短期暴露評価」が農薬残留基準値の設定に導入されることとなりました。

このことから表1,2の農薬については、現在の登録内容で使用した場合、新たに設定される農薬残留基準値を超える可能性があるため、使用方法などを変更する登録申請が行われていません（平成27年3月現在）。

特にアセフェート、カルボスルファン及びベンフラカルブを有効成分とする農薬については、農薬製造者等からチラシ等による変更後の使用方法に関する情報提供が開始されておりますので、既存の農薬容器のラベルではなく、情報提供された新しい使用方法に従って下さい。

### <短期暴露評価により使用制限の対象農薬一覧>

表1 直ちに使用方法の変更が必要となる農薬

有効成分	農薬商品名
アセフェート	オルトラン粒剤、オルトラン水和剤、ジェイエース粒剤、ジェイエース水溶剤、ジェネレート粒剤、ジェネレート水溶剤、オルトランDX 粒剤、スミフェート粒剤、スミフェート水溶剤、家庭園芸用オルトラン粒剤、家庭園芸用オルトラン水和剤、家庭園芸用GF オルトラン粒剤、家庭園芸用GF オルトラン水和剤
カルボスルファン	ガゼット粒剤、アドバンテージ粒剤、アドバンテージS 粒剤
ベンフラカルブ	オンコルOK 粒剤、グランドオンコル粒剤、ジャッジ箱粒剤、オンコル粒剤5、オンコルスタークル粒剤、オンダイアエース粒剤、オンコルマイクロカプセル、オンコル粒剤1

表2 防除暦、防除指針から削除(変更)が必要となる農薬

有効成分	農薬商品名
フェモリナル	ルビゲン水和剤、スペック水和剤
フルバリネート	マブリック水和剤20、マブリックEW、マブリックジェット
NAC	マイクロデナポン水和剤85、デナポン水和剤50
ジメトエート	ジメトエート乳剤、ジメトエート粒剤、ベジホン乳剤

※変更登録の内容については、農薬メーカーからのチラシ等で確認してください。

県では、農林水産省の通知等に基づき、登録変更後の使用方法について、関係団体などへの情報提供を行っております。今後も、新しい情報についてはちくお知らせいたしますので、農薬残留事故等のないよう、農薬の適正使用をお願いいたします。



**環境保全型農業を支援する制度が、取組みやすくなりました！**

化学肥料・化学合成農薬の低減や有機農業などの取組を支援する「環境保全型農業直接支援対策」が、平成27年度から「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき実施されることになりました。

環境保全型農業は、農業の有する多面的な機能の発揮や自然環境の保全のための農業生産活動であり、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果が高いことが期待されています。

「環境保全型農業直接支援対策」の対象者や対象となる活動について紹介します。



**1. 対象者**

農業者の組織する団体、または、一定の条件を満たす農業者等

**2. 対象となる活動と交付単価**

**【必須】** 化学肥料や化学合成農薬を5割以上低減する取組み

**【選択】** 下表の取組みのうち、1つ以上を実施



取組み	補足	交付単価(円/10a)	改正点
有機農業(そば、飼料作物)	化学肥料・農薬を使用しない	8,000 (3,000)	予算の範囲内で、同一ほ場にて2取組みまで支援されることになりました。 但し、組合せは作物ごとに違いますので、詳細は下記にお問い合わせ下さい。
緑肥(カバークロープ)の作付	5割低減に取組む作物の栽培期間の前後に行うこと	8,000	
堆肥の施用		4,400	
冬期湛水管理		8,000	
夏期の生き物緩衝地帯	5割低減に取組む作物の栽培期間中に行うこと(現在、国と協議中案件)	4,000	
総合的病害虫・雑草管理と畦畔除草及び秋耕の実施		4,000	

**3. 留意事項**

市町の予算措置が必要ですので、事業の実施に際しては、予め市町か下記にご相談を下さい。  
 (経営支援班 52-0268)

**【お知らせ】春の農作業安全運動が始まります！  
 (平成27年4月1日～5月31日)**

いよいよ、春の農作業が始まります。  
 トラクター、田植機などの大型高性能機械を使用する作業は、危険と隣合わせです。  
 準備に当たっては、始業前点検に心がけるとともにゆとりを持った作業計画を立てましょう。  
 作業に当たっては、周囲の確認、エンジンを止めてからの点検、ほ場の出入りは補助者の確認など、安全な作業を心がけましょう。

**【お知らせ】技術情報番組の放送がスタート！  
 (今年は3月20日～CATV あぐりアイ新川)**

3月20日から、ケーブルテレビ局のみら～れTV(黒部市、入善町、朝日町)で、技術情報番組「あぐりアイ新川」の放送が始まります。  
 水稻、大麦、大豆を中心に、生育時期に応じた栽培管理などの情報を分かりやすくお伝えします。  
 是非とも、ご覧下さい。